

# 水害時避難行動判定フロー

洪水・内水氾濫ハザードマップを確認

ご自宅がある場所に色が塗られていますか？  
※ご自宅の浸水の深さを確認する場合には、東京都防災アプリの水害リスクマップでも確認できます。

いいえ

原則避難の必要はありません。  
※土砂災害警戒区域等のそばにお住まいの方は、世田谷区からの土砂災害に関する避難情報を参考に避難してください。また、地下施設の浸水は浸水想定には反映していないため、必要に応じて、垂直避難を行ってください。

はい

あなたの住んでいる場所の想定される浸水の深さは？

多摩川洪水時

内水氾濫・中小河川洪水時

ご自宅が2階建て以下で浸水想定が3m以上、もしくは多摩川浸水想定区域内で、家屋倒壊等氾濫想定区域に該当していますか？

はい

浸水想定が0.5m以上に該当していますか？

いいえ

はい

自宅に2階以上等の避難できる場所がありますか？

いいえ

## 屋内待機

原則、避難の必要はありません。  
※土砂災害警戒区域等のそばにお住まいの方は、世田谷区からの土砂災害に関する避難情報を参考に避難してください。また、地下施設の浸水は浸水想定には反映していないため、必要に応じて垂直避難を行ってください。

## 垂直避難

自宅が浸水するおそれがあるので、2階以上に避難しましょう。

## 水平避難

自宅の2階まで浸水するおそれがあります。ご自身で決めた避難先（親戚・知人宅・水害時避難所）など自宅外へ避難しましょう。ただし、屋外への避難が危険な場合は垂直避難を行ってください。

避難先を決めておきましょう

多摩川洪水時

内水氾濫・中小河川洪水時

あなたの状況にあった水害時の避難情報の入手方法は？ 本ハザードマップの反対面から選びましょう。

①

②

③

④